

平成30年12月20日

群馬県環境アドバイザー連絡協議会ごみ部会

群馬県からの連携提案項目について（部会報告）

さる12月13日のごみ部会は、部会員10名の参加で、県との連携提案項目を中心に話し合いました。

あくまでもごみ部会としての纏めになりますが、連絡協議会としても参考にして戴くよう提言します。

① 食べきり協力店の開拓とPR

飲食店等に「ぐんまちゃんの食べきり協力店」の登録制度を普及させることは、生ごみの減量、食品ロスの観点からも重要である。しかし性急な働きかけについては反発を招く可能性もあり、制度の説明やPRを慎重に推進してゆく必要がある。またアドバイザーが日常的にすすめるには、働きかけた店名や件数を把握し、登録の有無などを確認できる仕組みが必要ではないか。

② 「3きり運動」、「30・10運動」の啓発と普及

「3きり運動」については今までも日常的に取り組んで来たことで、誰でも生ごみの減量に簡単に取組めて効果が出せる。引き続き個々の実践とともに日常会話の中等で取り上げ広めてゆく。「30・10運動」については宴会の機会が減り、主婦にはあまり縁がないとの意見があった。良いことなので宴会がなくても、話題として広まれば良いのではないか。

③ ぐんま3R宣言

環境アドバイザーの地域活動と絡め大きな成果があった。
既に目標は達成しているが、引き続き取り組んでゆく。

④ リユース食器活用促進

イベントでの回収補助は、リユース食器の回収に効果があった。地域イベントでの採用を目指して、勉強会の開催が必要との意見一致をみた。リユース食器の活動家を招いて勉強会を実施したい。

⑤ 学習会等における啓発冊子の活用

地域でのごみ減量学習会を増やしてゆく。「ぐんまちゃんのごみBOOK」は、私たち環境アドバイザーの意見も取り入れて作成されたもので、地域学習会等において積極的に活用したい。

※お問い合わせは山田宛て携帯電話かEメールでお願いします。

1月ごみ部会はお休みです。次回は2月実施予定。携帯 090-4120-6508 Eメール itirouyjp@yahoo.co.jp